

インフォメイトじょう

Vol.10
April
2016

特集

感染症科のお仕事

「地域がん診療連携拠点病院」とは

職員にとって「働きやすい環境」が整っているか
第三者機関から評価を受け認証されました。

公立昭和病院の本を出版しました

第5回 ブラック・ジャックセミナー
を開催しました！

公立昭和病院 予防健診センター

感染症科のお仕事

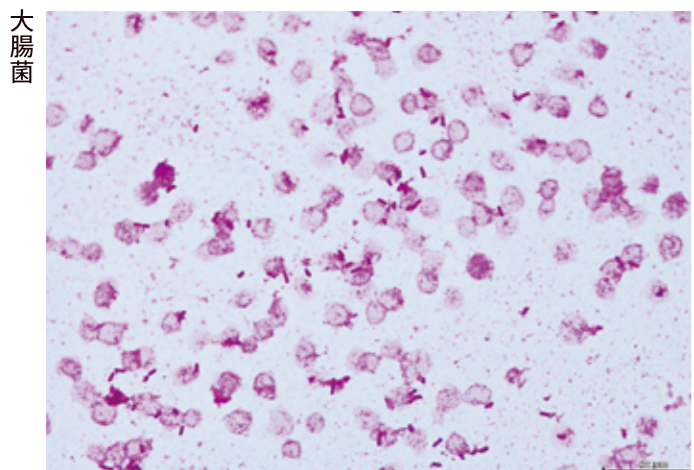
感染症とは？

感染症は、細菌やウイルス等の様々な微生物がヒトの体に起こす病気です。病院には様々な診療科があります。公立昭和病院に現在の感染症科ができて約5年が過ぎました。日本では「感染症科」がある病院はまだ多くない状況です。皆様は「感染症科」と聞いて、どのようなことをやっている診療科か想像がつくでしょうか？

今回は、皆様に感染症科でどのような仕事を行っているのか？についてお伝えしようと思います。

お医者さんの相談役

ヒトのカラダのあらゆる部位に感染症は起こります。皆様は、熱があるときにおなかが痛くなりおなかの病気かな？と思われた場合には、消化器内科や消化器外科に、のどが痛ければ、のどの病気を心配されて耳鼻咽喉科に受診されるかもしれません。公立昭和病院では、多数の診療科の医師が、それぞれカラダの部位ごとの専門家として皆様の診断・治療をおこなっています。各専門診療科の医師は、いわば「その道のプロ」ですから、ほとんどの場合、感染症の診断・治療はうまくいきます。しかしながら、感染症の診断・治療が簡単にはいかないことが稀にはあります。そういう時が「感染症科」の出番です。各診療科の医師から感



大腸菌

地域医療連携室だより！

病院の機能について

国の方針により医療機関は、高度の医療や施設を有する病院へ患者さんの集中を防ぐことや、限られた医療資源をより広く有効活用できる環境作りを目的として、役割分担がされています。そのため、患者さんの状態に応じた療養環境を選択する必要があります。代表的な病棟の機能をご紹介します。

一般病棟

発症後間もない病気や怪我、または慢性疾患が増悪した患者さんへ集中的な治療が必要な期間(急性期)、検査・手術など高度で専門的な医療を提供しています。入院期間は医師の判断によりですが、病状が落ち着くまでの短期間となっています。当院は518床のうち512床がこれにあたり、平成27年(4月から9月)の平均在院日数は11.1日でした。

回復期リハビリテーション病棟

急性期の治療が終了した脳血管疾患や大腿骨頭骨折等の発症または手術後2か月以内(一部の疾患では1か月以内)の患者さんを対象としています。日常生活動作の向上や家庭復帰を目的としたリハビリテーションを、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の多職種が共同し、集中的に行います。最長の入院期間は疾患ごとに60日から180日と決まっています。



地域包括ケア病棟

急性期の治療が終了した後、引き続き医療処置やリハビリテーションが必要な患者さんを対象としています。入院期間は60日を上限としており、自宅退院することを目標としています。

療養病棟

急性期の治療が終了した後、引き続き医療処置等が必要であり、身体機能が低下している患者さんを対象としています。慢性疾患の医学的管理や看護・介護等のケアをしており、集中的な治療や身体機能等の回復目的のリハビリテーション、延命処置などは行っていません。医療保険対応の医療療養型と介護保険対応の介護療養型があります。入院期間は各病院により異なりますが、3か月から1年程度と定めていることが多いです。

緩和ケア病棟

治療が困難とされた悪性腫瘍の患者さんを対象としています。悪性腫瘍の進行に伴う身体的・精神的苦痛を和らげ、生活の質の向上と、その方らしい人生を全うできるように支援しています。患者さんご自身が、悪性腫瘍であり手術や化学療法など治療を目的とする治療ができない状態だと理解していることなどが受け入れの条件となっています。病床数が少ないため、入院できるまでに時間を要することがあります。

《公立昭和病院の理念と方針》

【理念】

一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

【方針】

- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます

当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市および西東京市の8市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に応えています。



公立昭和病院

〒187-8510
東京都小平市花小金井8-1-1
tel.042-461-0052
fax.042-464-7912
www.kouritu-showa.jp



病院・地域を診るお医者さん

病院には、様々な病気を抱った患者の皆様が来院されます。病気を治すために病院にきているのに、病院で感染症になってしまったのは困ります。感染症科は、患者職員を含む病院を訪れる全ての人を感染症の脅威から守ることも役割としています。そのための方法を考え、発生した感染症を拡大しないための努力・工夫を行っています。

また、感染症科は地域の感染対策にも協力しております。インフルエンザ、ノロウイルス等の季節性のある感染症、結核・



「地域がん診療連携拠点病院」とは

乳腺 内分泌外科部長 金内 一

地域がん診療連携拠点病院とは、がんの検査・治療を地域の医療機関と連携しておこなう中心的な病院という意味です。予防医学である検診から、最新機器による診断、ガイドラインに沿った治療、地域医療機関と連携した緩和医療まで、がんに関する医療を幅広く提供しています。地域にお住いの皆様に向けて市民公開講座を定期的に開催し、がん検診を推進したり、最新の診断法や治療法を紹介したりしています。

がんの治療には、患者さまの病状にあわせて手術、薬物療法、放射線療法などを上手く組み合わせる「集学的治療」が必要です。院内連携としては医師、薬剤師、看護師など、多職種が一体となって「チーム医療」を実践しています。診療方針について、各科が集まって検討するカンサードボードを定期的に開催しています。「エビデンス」すなわち、科学的に効果があることが証明されている治療を行っています。

院外連携としては、かかりつけ医や地域の医療機関との間で患者さまの紹介、勉強会を開いて最新の医療についてなどの情報共有を図っています。がんを専門とする医師で作成した「がん診療パス」に従って、地域医療機関とともに検査や治療を行っています。

はしか・水ぼうそうのような拡がりやすい感染症、抗生物質が効きにくい耐性菌問題等：一つの病院だけで対策を行うても解決が難しい問題がしばしば起こります。そのような問題について、感染症科は専門家の立場から、地域の保健所や近隣医療機関等と協力し、地域全体での問題解決に取り組んでいます。

公立昭和病院や周辺地域で、感染症科が感染症をとりまくあらゆる問題の解決にお役にたてれば幸いです。

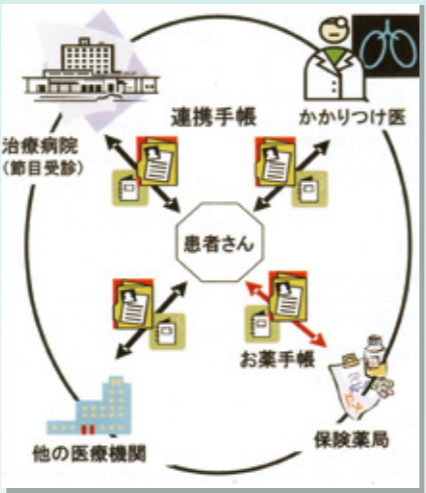
域医療機関との間で患者さまの紹介、勉強会を開いて最新の医療についてなどの情報共有を図っています。がんを専門とする医師で作成した「がん診療パス」に従って、地域医療機関とともに検査や治療を行っています。

抗がん剤治療に関しては、日常生活をしながら治療を受けられるように通院治療センターを整備してあります。「がん薬物療法認定薬剤師」、「がん看護認定看護師」を中心に抗がん剤治療と副作用対策をおこなっています。電動リクライニングチェア、ベッドやテレビも完備し、点滴による化学療法だけでも年間3,000件あまりを外来通院で実施しています。抗がん剤投与に関しては、数百種類あるくすりの組み合わせを「レジメン」として登録し、ガイドラインに沿って安全に使用しています。

「緩和医療」については、医師、薬剤師、看護師、臨床心理士などがチームを作って「からだ」ところの苦痛を和らげる「緩和ケア」に当たっています。痛みの軽減からがん告知後のケアまで幅広くサポートしています。

「がん相談支援センター」には療養生活などに関する相談が年間2,000件以上あります。訪問医療が必要な患者さまには、近隣の医療機関とのマッチングや行政手続きのご案内をしています。患者さまやご家族が悩みや情報を共有する場として、がんサロン「がんカフェ はなこ」を定期的に病院内で開催しています。

(関係図)



職員にとって「働きやすい環境」が整っているか 第三者機関から評価を受け認証されました。

当院は、NPO法人イージェイネットによる「働きやすい病院評価 認証事業」を受審し、このたび認証を取得しました。

この事業は、当院で働く職員にとって「働きやすい環境」が整っているかどうかを第三者機関が評価するもので、「働きやすい病院づくり」という視点で、病院長の基本方針や運営の考え方、また、育児支援のための制度や取組状況などについて、外部審査員が当院に訪問し確認をして、取り組み等が評価された結果、認証が付与されたものです。

今回の認証を契機として、今後も一層働



きやすい職場環境を構築し、優秀な人材の確保や優秀な医療人による医療サービスの提供を目指し、そのことによって患者さんから選ばれる病院になるよう、引き続き全職員が一丸となり、より良い環境づくりに努めてまいります。



公立昭和病院の本を出版しました

『公立昭和病院の最新の医療』病気と治療のやさしい説明』の出版

この度当院では、公立病院に求められている「安全で質の高い医療」をわかりやすく説明し、患者さん自身に病気について少しでも理解していただく助けになることを目的として出版しました。

この本では、「よくある病気」についての標準的な治療法、そして最新の治療法について、当院の専門医がわかりやすく説明しています。巻頭では当院の先端医療について13項目、本編では最新医療について66項目をピックアップしています。診察室で聞くだけではなかなか理解しきれない病気や治療の説明を、ゆっくりと読んでいただけるとおもいます。各ページには、豊富なイラストと写真を載せ、難しい医療用語はなるべく易しい言葉に置き換えたり解説を付けてるので、とてもわかりやすい本になりました。

本をご希望の方は当院のコンビニやお近くの書店でお求めにすることができます。



第5回ブラック・ジャックセミナーを開催しました！

3月6日(日)に、当院で第5回ブラック・ジャックセミナーを開催しました。このセミナーは、「将来の医師を育てる」ことを目標に、最新の医療にふれる機会を提供するものです。

今回は、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市の小学校新5・6年生を対象に募集を行い、多数のお申し込みをいただいた中から、抽選で選ばれた28名が参加しました。

当日は、手術着に着替えた子ども達が一チームに分かれて、

- ①手術縫合体験
 - ②内視鏡トレーニング体験
 - ③超音波メス体験
 - ④エコー体験
 - ⑤病院見学の医療体験をされました。
- 体験中は、普段触れることのない医療器械に悪戦苦闘しながらも、みなさん真剣な表情で取り組まれていました。



手術縫合体験



内視鏡トレーニング体験



超音波メス体験



公立昭和病院 予防健診センター

人間ドック・脳ドック・半日ドック・CTによる大腸検診のご案内



日本人間ドック学会
健診施設機能評価認定施設

- 基本料金**
- 人間ドック / 49,680円
 - 各種オプション検査もあります。
 - 半日ドック / 37,800円
 - 脳ドック / 81,000円
 - CTによる大腸検診 / 31,320円



「組織市住民の方を対象」に平成26年4月1日より一部の検診事業について受診しやすい体制を構築しました。生活習慣病やがんの予防から治療まで担うことを目的とし予防や健診の機会を新たに提供させていただきます。

【対象住民】 小金井市・小平市・東村山市・東久留米市・清瀬市・東大和市・武蔵村山市・西東京市

【提供内容】 ●半日ドック / 26,460円 ●CTによる大腸検診 / 21,924円 (人間ドック オプション検査)

●乳房エコー：視触診 / 3,780円 ↓ 1,890円 ●マンモグラフィ：視触診 / 6,069円 ↓ 3,034円 ●前立腺がん検査 / 3,391円 ↓ 無料 ●ヘパシノゲン・血中ヒロリ抗体検査 / 2,980円 ↓ 無料 ●血中ヒロリ抗体検査 / 864円 ↓ 無料

※対象住民であっても当施設と人間ドックの契約を行っている健康保険組合等の加入者によっては対象外となります。

お問い合わせ・お申し込み ☎ 042-466-1800

〒187-18510 東京都小平市花小金井八丁目1番1号

URL : www.kouritu-showa.jp

